



禁煙宣言

Declaration of Opposition to Smoking



特定非営利活動法人 日本歯周病学会

<http://www.perio.jp>

— 市民の皆さんへ —

喫煙者は歯周病にかかりやすい!

喫煙者は非喫煙者に比べ2～8倍の危険度で歯周病にかかりやすくなります。さらに、喫煙による不快な口臭、味覚の鈍麻、歯肉の黒色化や歯面の着色など口腔内環境は悪化します。

喫煙者は歯周病の症状に気づきにくい!

タバコに含まれている化学物質が喫煙者の歯肉出血を減少させたり、歯肉表面を硬くすることで歯周病の症状が隠されてしまいます。

喫煙者では歯周病の治りが悪い!

歯周病の進行に応じて様々な治療が行われています。しかしながら、どのような歯周治療に対しても喫煙者では治りが悪いことが報告されています。

歯周病は全身疾患のリスクを高める!

歯周病は糖尿病、心筋梗塞や低体重児出産、早産などの発症と関係します。つまり、喫煙している歯周病患者では、これらの病気にかかるリスクがいっそう高まります。

タバコをやめましょう!

タバコをやめれば歯周病を含め様々な病気のリスクが著しく低下し、さらに周囲に対する悪影響も減ります。歯周病だけのためではなく、全身的健康のためにも1日も早い禁煙をおすすめします。

